

国立循環器病センター 薬剤師レジデント制度概要

【趣旨】

わが国における心臓血管疾患、脳血管疾患は、死亡数において癌に次いで第2位、第3位という状況であるが、患者数では癌をはるかに上回っている。これに対応すべく近年、循環器疾患の診断・治療法は急速に進歩してきており、その治療薬剤に関しては、専門的な知識および管理が必須となるものが多い。当センターにおける薬剤師レジデント制度は、わが国における循環器疾患の薬物療法の適正使用を推進し、将来この領域における先端的研究や高度専門薬剤師の育成・指導を行う牽引役となりうる人材を育成することを目的としており、病院薬剤師業務の基本的技術を修得するとともに循環器疾患に関する臨床および研究業務を行うこととする。研修期間は原則として2年間とし、指導薬剤師のもとに業務に従事し、その修了は各々の目標の到達状況を評価することにより認定する。

【目標】

1. 薬剤基本業務

下記の薬剤基本業務に関する基本的技術を修得する。

- ・調剤業務（入院・外来調剤業務）
- ・注射業務（注射薬調剤、高カロリー輸液調製業務）
- ・医薬品情報管理業務（医薬品の情報収集・管理、情報の加工・提供）
- ・製剤業務（院内製剤調製業務、特殊製剤調製業務）
- ・試験検査業務（循環器疾患治療薬剤および免疫抑制剤の薬物血中濃度測定とその評価）
- ・医薬品管理業務（医薬品在庫管理・麻薬管理）
- ・薬剤管理指導（各循環器疾患病棟の薬剤管理指導、患者教育のための勉強会への参画）
- ・チーム医療への参画（感染対策チーム：ICT、栄養管理対策チーム：NST、褥瘡対策チーム）
- ・治験管理業務（治験管理薬剤の調剤、治験コーディネータ業務）

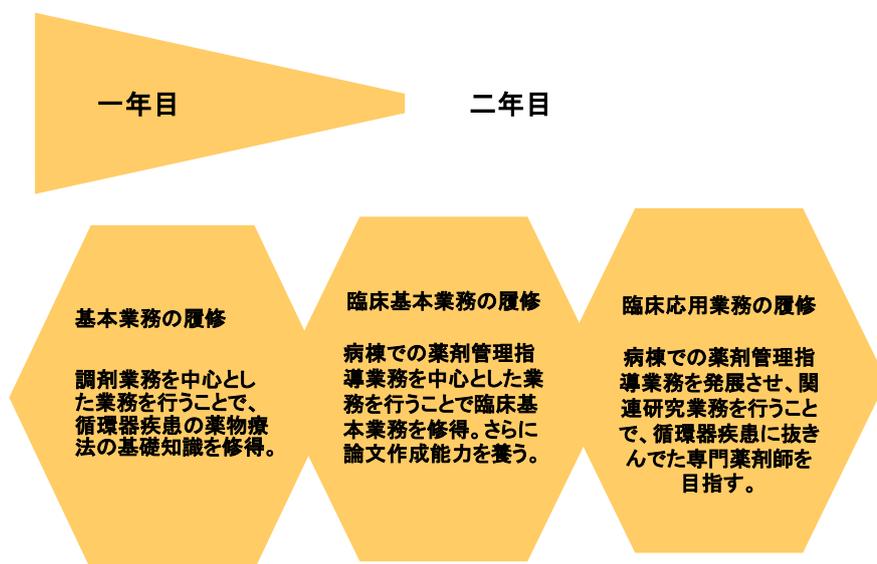
2. 臨床・研究業務

下記の臨床薬剤業務・研究業務のいずれかを行い、研修修了時までに関連学会における発表・論文投稿を行う。

- ・心臓血管内科・脳血管内科・腎・高血圧内科・動脈硬化・代謝内科・心臓血管外科・脳血管外科・小児科・周産期科・集中治療室・臓器移植部の各部門における臨床薬剤業務を行い、代表的な症例に関する薬物療法を修得する。また、各部門の中で、1部門についての臨床研究を行う。

- ・感染対策チームの一員として抗菌薬の投与設計・感染対策を行う。
- ・栄養管理対策チームの一員として各種循環器疾患の栄養輸液の投与設計を行う。
- ・循環器疾患治療薬剤および免疫抑制剤の薬物血中濃度測定結果を評価し、循環器疾患治療薬剤の薬物投与計画を行う。

年間スケジュール



薬剤師レジデント制度についての照会先

TEL 06-6833-5012

(内線 8252) 薬剤部 副薬剤部長 早川直樹